

須恵パーキングエリア スマートインターチェンジ 社会実験がスタートします

国土交通省は平成16年度、既存の高速道路の有効活用と地域経済の活性化を推進するために、建設費や管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジ(ETC専用インターチェンジ)導入の社会実験を行います。

この社会実験「SA・PAに接続するスマートIC社会実験」の第一次採択箇所に、須恵パーキングエリアが採択されました。

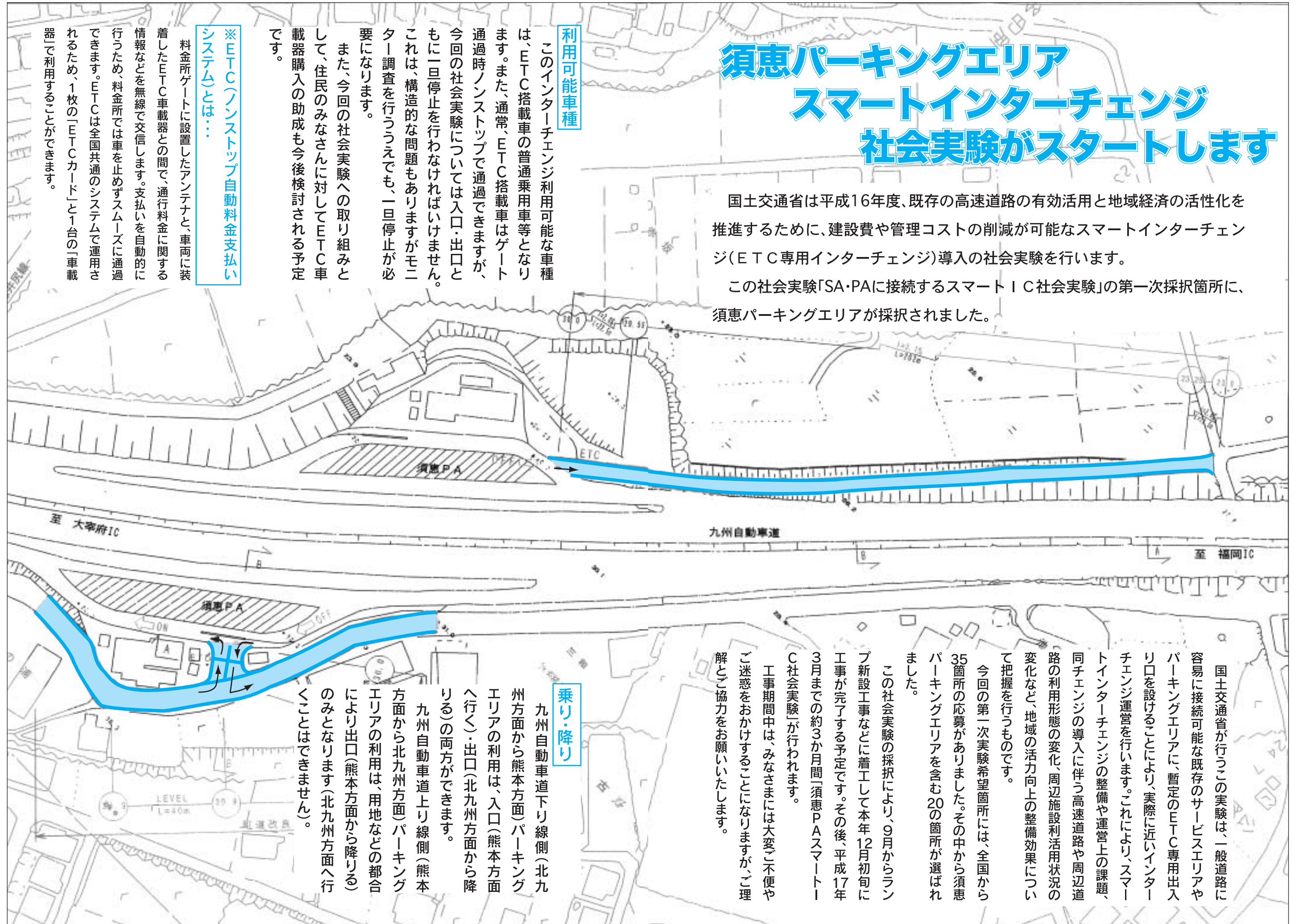
利用可能車種

このインターチェンジ利用可能な車種は、ETC搭載車の普通乗用車等となります。また、通常、ETC搭載車はゲート通過時ノンストップで通過できますが、今回の社会実験については入口・出口ともに一旦停止を行わなければいけません。これは、構造的な問題もありますがモニター調査を行ううえでも、一旦停止が必要になります。

また、今回の社会実験への取り組みとして、住民のみなさんに対してETC車載器購入の助成も今後検討される予定です。

※ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)とは...

料金所ゲートに設置したアンテナと、車両に装着したETC車載器との間で、通行料金に関する情報などを無線で通信します。支払いを自動的に行うため、料金所では車を止めずスムーズに通過できます。ETCは全国共通のシステムで運用されるため、1枚の「ETCカード」と1台の「車載器」で利用することができます。



国土交通省が行うこの実験は、一般道路に容易に接続可能な既存のサービスエリアやパーキングエリアに、暫定のETC専用出入口を設けることにより、実際に近いインターチェンジ運営を行います。これにより、スマートインターチェンジの整備や運営上の課題、同インターチェンジの導入に伴う高速道路や周辺道路の利用形態の変化、周辺施設利用状況の変化など、地域の活力向上の整備効果について把握を行うものです。

今回の第一次実験希望箇所には、全国から35箇所の応募がありました。その中から須恵パーキングエリアを含む20の箇所が選ばれました。

この社会実験の採択により、9月からランブ新設工事などに着手して本年12月初旬に工事が完了する予定です。その後、平成17年3月までの約3か月間「須恵PAスマートIC社会実験」が行われます。

工事期間中は、みなさまには大変ご不便やご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

乗リ・降リ

九州自動車道下り線側(北九州方面から熊本方面)パーキングエリアの利用は、入口(熊本方面へ行く)・出口(北九州方面から降りる)の両方ができます。

九州自動車道上り線側(熊本方面から北九州方面)パーキングエリアの利用は、用地などの都合により出口(熊本方面から降りる)のみとなります(北九州方面へ行くことはできません)。